報告事項第 36 号

令和８年 11 月５日
立 山 町 住 民 課

立山町営バス予約型交通“ここノリ”について

立山町では、去る令和８年 10 月 13 日（火）に、AI が予約状況に応じた運行ルートを選択する AI オンデマンド型の運行である「立山町営バス予約型交通“ここノリ”」の実証事業をスタートしましたので、この現状を以下のとおり報告いたします。

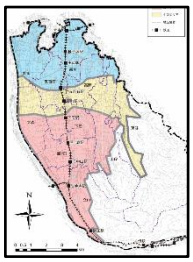
１．事業概要

実施期間	**令和８年 10 月 13 日（火）から**令和９年３月 31 日（水）まで
運行日時	平日（祝日・年末年始除く）の８時から 18 時まで
運行エリア	新川地区から横江集落（立山地区）まで
運行車両	**トヨタ　ノア　ウェルジョイン** **（乗車定員７人）**　合計３台（写真右）
予約方法	＜コールセンター＞ 運行日の８時 30 分から 15 時まで ＜インターネット＞ 365 日 24 時間
利用者	会員（同乗者含む）


“ここノリ”運行車両

利用料金（1乗車当たり）

区　分	２エリアまで	３エリア
通常料金	700 円	900 円
立山町民（在勤・在学含む）	500 円	700 円
障害者・学生（小、中、高）	300 円	500 円
未就学児（保護者同伴時のみ）	無　料	


エリア図

支払方法	現金、**利用券**、たてポカード決済

停留所（乗降場所）

206 か所（令和８年 11 月２日時点）

区分	集落・自治会	公共施設	共創パートナー	電車・バス	チャレンジ
箇所数	102	48	28	17	11

運行事業者	旭自動車株式会社、アルペン交通株式会社、立山交通合資会社 **共創ポイント①**

２．運行開始までの各種取組

（1）　サービス愛称の投票による選定　**共創ポイント②**

“ここノリ”（投票総数のうち 441 票のうち **167 票**を獲得）

（2）　ロゴマーク及びイメージカラーの採用　**共創ポイント③**

利用者の親しみやすさ、サービスのブランディング等を促進

“ここノリ”ロゴマーク

(3) 共創パートナー制度の創設［別紙］　共創ポイント④



共創パートナー停留所(独立式)の例

町営バスをともに支えるという趣旨に賛同いただいた町内事業者から協賛金を募り、その特典として停留所設置、車体広告等を提供する新たな資金確保に向けた共創型の新制度を創設。

＜共創パートナー数＞　**53** 事業者（令和８年度）

＜協賛金の額＞　**183.6** 万円

(4) 地域住民との協働による停留所設置　共創ポイント⑤

各集落の実情を反映した停留所の設置に向け、各区長の協力の下、希望設置地点調査を実施し、この結果を基に**「集落・自治会停留所」を設置**。また、この調査時に頂いた要望を踏まえ、新たに集落に２か所目、３か所目の停留所を条件付きで設置できる**「チャレンジ停留所（年間 150 回の利用目標の達成を目指し、ともに努力するインセンティブ制を採用したもの）」**区分を創設。

(5) 運行記念式の開催

令和８年 10 月９日（金）に、立山町防災児童館複合施設東側駐車場にて「立山町営バス予約型交通“ここノリ”運行記念式」を開催。同時に運行車両３台もお披露目。


運行記念式(テープカット)

(6) 住民説明会の開催　共創ポイント⑥

事業概要説明、会員登録申込受付、電話・インターネット予約体験及び体験試乗会を組み合わせた住民説明会を **11 回開催**し、利用者層拡大、再編への理解醸成を促進（運行開始後も３回開催）。


事前申込型住民説明会

	開催回数	参加者数	会員登録申込数	乗車体験者数	スマホ予約体験者数
自由参加型	３回	91 人	76 人	20 人	６人
事前申込型	８回	111 人	76 人	44 人	22 人
合　計	**11 回**	**202 人**	**152 人**	**64 人**	**28 人**

３．事業実績（令和８年 10 月 27 日時点）

(1) 会員数　381 人

(2) 延べ利用者数　210 人（１日当たり 19 人）

(3) 利用頻度の高い停留所

	停留所の名称	区分	利用回数
1	202_みらいぶ・五百石駅	公共施設	71 回
2	208_グリーンパーク吉峰（ゆ～ランド）	公共施設	54 回
3	228_雄山中学校・教育センター	公共施設	41 回
4	317_大阪屋ショップ立山店前	共創パートナー	20 回
5	331_アルビス立山インター店	共創パートナー	19 回